

緑内障

2025.9.13^{Sat}

12:30-13:30

神戸ポートピアホテル南館
B1F エメラルド（第四会場）

早期発見・早期治療

実践講座

ランチョンセミナー

LS8

座長のことば

近年、緑内障における診断と治療の進歩は目覚しく、多様化しています。眼の病気は、早期発見早期治療が大切です。中でも緑内障はなかなか自覚症状がでないため発見が遅れがちです。本セミナーでは3人のエキスパートの先生より、緑内障早期診断における診断ツール、早期治療の選択肢について最新知見をお話して頂きます。

緑内障診断において早期発見に役立つツールとして、先ず、西田先生には構造的異常の検査として、Retinal Nerve Fiber Layer Optical Texture Analysis (ROTA) を使用した診断について講演して頂きます。続いて、高橋先生にはOCT Angiography 活用での日常診療について講演して頂きます。最後に新田先生には、施行が比較的容易で、早期治療開始が可能なマイクロパルスレーザー線維柱帯形成術について、自験例を示しながらその効果と留意点について講演して頂きます。本セミナーがご参加の先生方の明日からの日常診療の一助となれば幸いです。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

座長

中澤 徹 先生
東北大学



西田 崇 先生

カリフォルニア大学
サンディエゴ校眼科

Retinal Nerve Fiber Layer
Optical Texture Analysis(ROTA)
による緑内障早期発見



高橋 直樹 先生

東北大学

血流に着目した
診療レベルの向上



新田 耕治 先生

福井県済生会病院

早期治療における
MLT の有用性